

10. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (四国)	◎	衣料品専門店（経営者）	・景気は必ず良くなると思う。新型コロナウイルス感染症が各地で再拡大しているが、経済活動への影響は限られており、景気動向には余り関係なくなってきたと思う。
	○	スーパー（人事）	・激増する新型コロナウイルス感染症に対し制限が掛からない今の様な状態がいつまでも続くとは思えないが、外向き消費は増えているため、政府や自治体から制限が掛からない限りは景気は上向くと思われる。
	○	衣料品専門店（経営者）	・秋頃から売上が増加するのではないかと期待している。
	○	乗用車販売業（営業担当）	・受注停止になっていた車種のうち、数種類が再開予定になっている。
	○	乗用車販売店（役員）	・メーカーの生産状況が少し改善されると期待している。
	○	一般レストラン（経営者）	・コロナ禍での生活が長期化しており、人々の危機意識は薄れつつある。新規感染者数に関係なく少しずつ客足が回復すると思う。
	○	旅行代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大の状況次第ではあるが、全国旅行支援が開始されれば売上増加につながると思う。
	○	タクシー運転手	・新型コロナウイルス感染症が再拡大している今も特に行動制限があるわけではない。秋になり新規感染者数が落ち着けば、景気も少しずつ改善していくと思う。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症が全国で再拡大しているが、客の動きには大きな変化はなく、景気は少しずつ回復していると思う。
	□	商店街（事務局長）	・新型コロナウイルス感染症の第8波も懸念されるが、引き続き経済を回していくしかないと思う。
	□	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響で利用者の行動が鈍くなっている。感染の拡大が早く収束することを願っている。
	□	一般小売店〔文具店〕（経営者）	・早い梅雨明けの後に猛暑が続き、客の商店街への人出は芳しくない。新型コロナウイルス感染症の終息が全く読めないため、状況の変化があるとは思えない。
	□	一般小売店〔酒〕（販売担当）	・物価の上昇が家計を苦しめていることに加え、新型コロナウイルス感染症の第7波により先行きが不透明である。
	□	百貨店（企画担当）	・新型コロナウイルス感染症に対する特效薬が開発される等の状況の変化が生まれない限り、景気が上向くかどうかの判断はできない。
	□	百貨店（営業統括担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くのか不透明である。
	□	百貨店（販売促進）	・新型コロナウイルス感染症の爆発的な感染拡大は落ち着くが、収束することは難しいと考える。
	□	スーパー（企画担当）	・今後も商品の値上げが続き、消費マインドが低下することを懸念している。
	□	スーパー（財務担当）	・新型コロナウイルス感染症の再拡大で、内食需要が復活することを期待している。
	□	コンビニ（店長）	・このまま現状が続くと予想する。
	□	コンビニ（総務）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が各地で過去最高を更新しており、今後景気が良くなる要因が見当たらない。
	□	コンビニ（商品担当）	・今後の電力ひっ迫状況を懸念している。
	□	衣料品専門店（営業責任者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増加すると来客数も減少するため、売上はしばらく現在の水準で推移すると予想する。
	□	家電量販店（副店長）	・先行きが不透明な状況が続くと思う。
	□	乗用車販売店（従業員）	・依然として半導体不足等による自動車生産の遅れが続いており、まだまだ回復が見込めない。
	□	その他専門店〔酒〕（経営者）	・商品の値上げにより客が減少傾向にあるが、大きな変化はない。
	□	タクシー運転手	・現在、新型コロナウイルス感染症が各地で再拡大しているが、今後もお盆や夏休み等で人の移動が増え続けるため、状況はしばらく変わらないと予想する。
	□	通信会社（営業部長）	・販売スタッフが新型コロナウイルスに感染し欠員になることが多いが、売上等に大きな影響はない。
□	観光遊園地（職員）	・引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けると予想する。	

	競輪競馬 (マネージャー)	・新型コロナウイルスオミクロン株は感染力は高いが毒性は強くないと聞くため、現在の環境が大きく変わることはないと予想する。	
	美容室 (経営者)	・今後の状況が見通せない。	
	美容室 (経営者)	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。	
	設計事務所 (所長)	・新型コロナウイルスの感染状況に大きく影響を受ける業種とそうでない業種の業績に大きな差が生まれており、どちらもいえない状況である。	
	商店街 (代表者)	・新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、これから先の夏のイベントに悪影響を及ぼさないか懸念している。	
	商店街 (代表者)	・日用品の値上げや電気料金の高騰等により消費者の家計負担が大きくなっている。新型コロナウイルス感染症の影響で正常な流通状態に戻ることはまだ期待できず、今後は自然災害が多く発生する季節に入るため、景気が回復する要因が見当たらない。	
	一般小売店 [生花] (経営者)	・周りの飲食店などで少しずつキャンセルが出ており、今後の影響を懸念している。	
	スーパー (店長)	・新型コロナウイルスの感染再拡大や物価高の影響で消費行動が鈍化し、景気が下向くと思う。	
	スーパー (店長)	・値上げの影響により買い控えが更に進むと予想する。	
	コンビニ (店長)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の急増と全国旅行支援が見送られたことで、人々の動きが鈍化するのではないかと懸念している。	
	家電量販店 (店員)	・ボーナス商戦が終わると値上げの影響で買い控えが起こると予想する。	
	乗用車販売店 (従業員)	・メーカーの生産台数の改善が進まない状況に加え、物価上昇や新型コロナウイルス感染症の影響で新車の受注台数も厳しくなりつつある。	
	その他小売 [ショッピングセンター] (総務部担当部長)	・物価上昇及び新型コロナウイルス感染症の再拡大の影響が大きく出てくると予想する。	
	観光型旅館 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響により外国人入国枠の拡大や全国旅行支援の開始が遅れているため、今後の客の動きが全く読めない状況である。	
	都市型ホテル (経営者)	・物価上昇に賃金上昇が追い付いておらず、消費マインドが低下傾向にあるのではないかと懸念している。	
	スーパー (統括担当)	・電気料金や物価等の上昇により消費者の生活が苦しくなると予想する。	
	衣料品専門店 (経営者)	・物価上昇の影響で今後も購買力が減退すると思う。	
	通信会社 (社員)	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加に伴い景気は悪化すると推測する。	
企業 動向 関連 (四国)	◎	食料品製造業 (商品統括)	・円安の進行によりインバウンド消費及び高級品の輸出が活発化すると予想する。
	○	パルプ・紙・紙加工品製造業 (経理)	・キッチンペーパーを新たにプライベートブランド化し生産することが決まったため、更に売上が増加すると予想する。
	○	電気機械器具製造業 (経営者)	・電気機器の部品が非常に入手しにくい現状であったが、代替品の活用及び新たな技術の開発が進んでおり、今後状況は良くなると予想する。
	○	広告代理店 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第7波の影響が心配であるが、イベントや客先の販売促進広告は多少復活する見通しであり、徐々に景気は回復すると予想する。
	□	建設業 (経営者)	・新型コロナウイルス感染症の第7波の状況次第である。既に研修会や親睦会等のイベントは中止や規模縮小などの自粛が始まっており、今後も現状が継続すると事業活動に影響が出てくると予想するが、現時点では何ともいえない状況である。
	□	建設業 (経営者)	・今後も状況は変わらないと思う。
	□	輸送業 (経営者)	・コロナ禍の生活に人々が慣れたこともあり、現状がしばらく継続すると予想する。
	□	輸送業 (経理)	・海外向け輸出入については復調傾向であるが、国内向け輸出入については新型コロナウイルス感染症の影響が懸念されており、今後も状況は大きく変わらない。
	通信業 (企画・売上管理)	・新型コロナウイルスの新規感染者数は増加傾向にあるが、行動制限等のビジネスを規制する呼び掛けはなく、状況は変わらないと思う。	

	□	通信業（総務担当）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増したことで社外イベント等について再度自粛や規模縮小の動きが出ており、今後の見通しが立たない。
	▲	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が更に増加し、観光や外食産業へ悪影響を及ぼすと推測する。
	▲	木材木製品製造業（営業部長）	・原材料の価格上昇が更に進むとの情報があり、販売価格の改定が急務となっている。取引先の中には価格が上がれば継続取引に影響が出るという声が出ているところもあり、今後の業績が悪化しないか懸念している。
	▲	化学工業（所長）	・新型コロナウイルス感染症とウクライナ情勢の状況次第であるが、しばらく円安傾向も継続する見込みであり、状況が好転する要因がない。
	▲	一般機械器具製造業（経理担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大に加え、ウクライナ情勢や原材料価格の上昇等の問題が山積しており、しばらく景気の回復は見込めない。
	▲	電気機械器具製造業（経理）	・新型コロナウイルスの感染再拡大に加え、ウクライナ情勢の長期化及び円安基調による物価高が継続しており、景気は悪化すると予想する。
	▲	輸送業（営業）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収束に向かい、サービス業を中心とした個人消費の増加につながれば景気も回復に転じると思うが、依然として燃料油や電気料金の高騰等のエネルギー情勢と新型コロナウイルスの感染拡大状況が事業経営を大きく左右することに変わりなく、今後景気が後退することを懸念している。
	▲	金融業（副支店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数の増加や資材価格の値上がり、円安の進行等により消費者マインドの低下が懸念される。
	▲	税理士事務所	・新型コロナウイルス感染症の第7波や物価高の影響で消費マインドが低下すると思う。
	×	農林水産業（職員）	・新型コロナウイルス感染症や国際情勢、日配品の値上げ等の影響により景況感の回復には程遠い。生鮮野菜については、日持ちがしない夏場は消費者の1回の買物量も減る傾向にあり、野菜価格の低迷が続く可能性が高い状況にある。
	×	鉄鋼業（総務部長）	・スクラップ価格は値下がり傾向に転じているが、まだまだ高水準である。また、燃料調整費上限撤廃により、8月より電気料金が大幅に値上がりする見込みである。製造経費に占める割合の高い電気料金の大幅な値上げは、大きな収益悪化要因となる。
雇用 関連 (四国)	◎	—	—
	○	求人情報誌製作会社（従業員）	・異動時期に入り、求人数の増加が予想される。
	□	人材派遣会社（営業）	・県外からの帰省客や観光客のキャンセルが増加傾向にあり、依然として安心して旅行ができる環境が戻ってこない。
	□	民間職業紹介機関（所長）	・新型コロナウイルスの感染拡大状況次第である。
	□	学校〔大学〕（就職担当）	・企業の人手不足感は慢性化しており、景気には余り影響ないと思う。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス感染症の影響で製造業の求人数が低迷することを懸念している。
	▲	求人情報誌（営業）	・観光やサービス、飲食業界での景気悪化に歯止めが掛からず、回復の見込みが立っていない。
	▲	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・個人消費が伸びないと景気回復は難しいと思う。
	▲	職業安定所（求人開発）	・急激な新型コロナウイルスの感染状況の悪化で、宿泊業や飲食サービス業の業績に陰りがみえ始めている。
	×	—	—